

第19回 危険業務従事者叙勲

11月3日に発令された、平成24年秋の叙勲および第19回危険業務従事者叙勲の市内の受章者を紹介します。

瑞宝双光章 (警察功勞)

たがみ あきお
田上 秋男さん (70歳)
土佐山田町北組西

田上さんは、昭和36年4月に高知県警に採用され、警察学校を修了し、昭和37年4月から6年間旧山田署で勤務されました。捜査畑を中心に回られ、平成13年4月に着任した山田警察署長を最後に平成15年3月に退職されました。

事件が解決したときの達成感にやりがいを感じたという田上さんは、最初の赴任地であった山田署管内の様子を「当時は事件が多く、署員も多かった。花見の時期には警備本部ができ、3～4人体制で警備に当たった」と話しました。

須崎市出身の田上さんは、この最初の赴任の地で土佐山田町内の方と出会われ、ご結婚されました。

瑞宝単光章 (消防功勞)

もりもと ふみお
森本 文雄さん (70歳)
物部町大栃

森本さんは、昭和38年に物部村消防団に入団され、昭和48年1月に山田消防組合に採用されました。平成12年4月に消防司令として就任した香北分署長を最後に、平成14年9月に退職されました。

森本さんは香北分署で長く務められました。採用された当時を振り返り、「道が悪く、主な業務であった救急搬送では30分～1時間かけて山道を担架で走った」とご苦労を話されました。

また、「消防士という危険な業務を通して、在職中に、自分や同僚に事故なく過ごせて良かった」と話されました(森本さんの採用年前年には繁藤大災害で多くの消防士の方が亡くなられています)。

市民の皆様への 平穩を祈念して

香美市長

かどわき まさお
門脇 槇夫

新年明けましておめでとうございます
市民の皆様方には輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます

さて、昨年末に慌ただしく衆議院議員総選挙が執行されましたが、選挙結果からも各政党のさまざまな政策や思惑が混沌としており、特に原発問題やTPP問題など大きな課題が山積している中、今後の政治が示す方向性はなかなか見通せない状況です。新政権にあつては、地方の実情や実態を十分見極めた上で国政運営を推進していただきたいと願うものであります。

一方、本市は今年より、消防庁舎をはじめ給食センターなどの公共施設建設工事が本格化することから、近隣の皆様にはご迷惑やご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も全職員一丸となつて市民の皆様方の安全で安心な生活を守ることを念頭に、健全な行政運営に心がけてまいりますので一層のご協力を重ねてお願い申し上げます。

皆様方にとりまして穏やかな一年となりますよう、ご祈念いたしまして年頭のごあいさついたします。

新年のごあいさつ

安全で安心な まちづくりを目指して

新年あけましておめでとうございます
市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます

市民の皆様方には、ご健勝で輝かしい新年をお迎えになられたことと、お慶びを申し上げます。本市も合併をして7年になりますが、合併時には3万人を超していた人口が、現在では2万7700人余りに減少し、人口減に歯止めがかからない状態であり、定住人口の増加にどう取り組むかということが本市の重要課題となつて参りました。

産業の振興、教育や福祉の充実に、健全な行政の運営に、議会としての議決権限によりチェック機能を十分に果たして参ります。

さらに、民主的な議会運営に努めると同時に、市民に対する議会報告会も昨年は2回、21の地域で行いましたので、今年も引き続き行って参ります。今年が皆様方にご多幸な年でありますようにご祈念をいたしまして新年のごあいさついたします。

議会としても、市民のニーズに応え、農林業や商工業、伝統

香美市議会議長

にしむら ほうせい
西村 芳成

知恵袋の会 県文化環境功勞



▲知恵袋の会 尾崎満会長

11月19日、第17回高知県文化環境功勞者表彰式が高知県庁で行われ、情報交流館「知恵袋の会」(土佐山田町大平)が表彰されました。

同会は平成13年に発足し、地元でできた森林総合センターを利用し、親子を対象とした里山自然体験教室を実施してきました。農作業や昔遊びなどの体験を通じて四季折々の自然環境と触れあう機会を提供するとともに、先人の貴重な経験や知恵の伝承に尽力されています。

また、物部川流域で、子どもたちが清流の再生や保全を考えるきっかけの場をつくり、地域の環境保全やふるさとの絆づくりに貢献されています。

繁藤中 製造産業局長賞受賞



▲受賞作品を製作中のメンバー

12月8日、第15回「エネルギー利用」技術作品コンテストの表彰式が信州大学(長野県)で行われ、繁藤中学校のチームTRIO(村上実緒子さん・山本佳奈さん・杉村涼太郎さん)の作品「ファンモーターを利用した風力発電の原理装置」が経済産業省製造産業局長賞を受賞しました。

このコンテストは、日本産業技術教育学会の主催で、エネルギーをテーマとした技術作品で競い、小学生から高校生を対象としたコンテストです。

震災以降、再生利用可能なエネルギーが見直されることになり、風力発電に注目し、多くの人たちに再生エネルギーについて考えてもらうきっかけになればよいと思いこの作品を作ったそうです。